

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年7月25日（木）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアF、伐採木一時保管エリアG（図1）
- 3 確認項目
増設雑固体廃棄物焼却設備廃棄物貯留ピットから回収した伐採木チップの保管状況

4 確認結果の概要

令和6年2月22日に増設雑固体廃棄物焼却設備廃棄物貯留ピット（以下「貯留ピット」という。）の火災報知器の動作に伴い、貯留ピットに保管している伐採木チップの除熱のため注水（約1,200m³）が行われた。その後、3月22日から注水により水没した伐採木チップを回収、乾燥、袋詰め後コンテナに収納し、瓦礫類一時保管エリアF及び伐採木一時保管エリアG等にて一時保管することとしている。

本日は、一時保管エリアにおける伐採木チップが収納されたコンテナの保管状況について確認を行った。

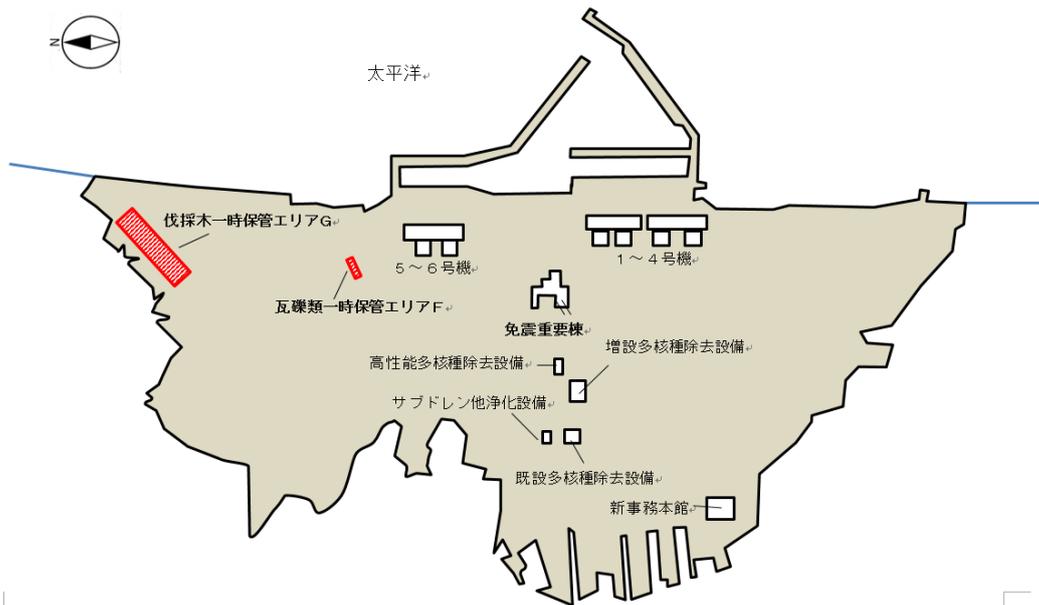
確認した範囲では、コンテナからの内容物の飛散やコンテナの転倒などの異常は確認されなかった。

○瓦礫類一時保管エリアF

- ・伐採木チップが収納されたコンテナ側面には「木チップ」と記載されたラベルが貼り付けられ、エリア北側に4段積みで保管されていた。（写真1）
- ・エリア西側の入口周辺には、火災対策として消火器が設置されていた。（写真2）

○伐採木一時保管エリアG

- ・エリア北側には、伐採木チップ以外の瓦礫類を収納したコンテナが4段積みで保管されており、伐採木チップが収納されたコンテナは確認できなかった。（写真3）
- ・本エリアでは、以前、伐採木のチップ化作業が行われていたが、増設雑固体廃棄物焼却設備が停止した影響で、チップ化作業は行われていなかった。（写真4）
- ・コンテナ近傍には、火災対策として消火器が設置されていた。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
瓦礫類一時保管エリアFにおける伐採木チップが収納されたコンテナの保管状況
(北東側から撮影)



(写真1-2)
伐採木チップが収納されたコンテナ側面のラベル貼り付け状況



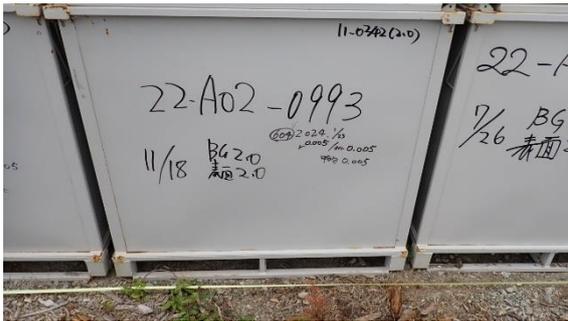
(写真2)
瓦礫類一時保管エリアF入口付近における消火器の設置状況



(写真3-1)

伐採木一時保管エリアGにおける瓦礫類が収納されたコンテナの保管状況

(南側から撮影)



(写真3-2)

瓦礫類が収納されたコンテナ側面の状況 (伐採木チップ未収納)



(写真4)

伐採木一時保管エリアGに設置されている伐採木チップ化作業エリア

(作業は行われていなかった)



(写真5)

伐採木一時保管エリアG瓦礫類収納コンテナ保管場所における消火器の設置状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。